

## 平成30年度決算に基づく南三陸町健全化判断比率・資金不足比率

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に規定する南三陸町における健全化判断比率および資金不足比率について、平成30年度決算に基づく算定結果は次のとおりです。

### ▶健全化判断比率

| 区分       | 平成30年度南三陸町比率 | 県内平均(仙台市を除く) | 早期健全化基準(黄信号) | 財政再生基準(赤信号) |
|----------|--------------|--------------|--------------|-------------|
| 実質赤字比率   | - % (▲30.49) |              | 14.89%       | 20.00%      |
| 連結実質赤字比率 | - % (▲40.38) |              | 19.89%       | 30.00%      |
| 実質公債費比率  | 6.9%         | 7.0%         | 25.0%        | 35.0%       |
| 将来負担比率   | - %          | - %          | 350.0%       |             |

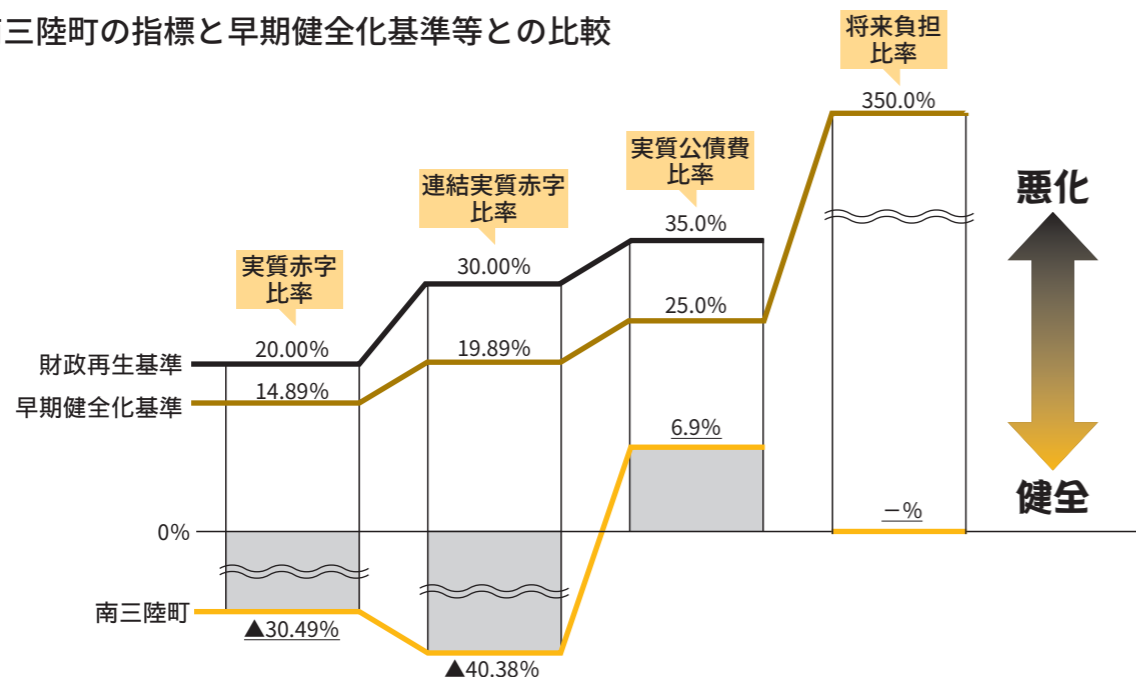
※赤字額がないため、実質赤字比率と連結実質赤字比率は「- (なし)」で表示し、黒字の数値を参考値として「▲」で表示しています。

### ▶資金不足比率

| 区分      | 市場事業  | 漁業集落排水事業 | 公共下水道事業 | 水道事業 | 病院事業 | 訪問看護ステーション事業 |
|---------|-------|----------|---------|------|------|--------------|
| 資金不足比率  | - %   | - %      | - %     | - %  | - %  | - %          |
| 経営健全化基準 | 20.0% |          |         |      |      |              |

※資金不足額がないため、資金不足比率は「- (なし)」と表示しています。

### ▶南三陸町の指標と早期健全化基準等との比較



#### ■実質赤字比率

福祉、教育、まちづくり等を行う町の一般会計の赤字額を、標準的な収入と比較して指標化したものです。平成30年度も黒字決算となったことから、算定されていません。

#### ■連結実質赤字比率

すべての会計の赤字や黒字を合算して、町全体の資金不足の程度を把握するため、標準的な収入との比較により指標化される比率です。全会計黒字決算となっていることから、算定されていません。

#### ■実質公債費比率

標準的な収入に対する一般会計の実質的な借入金返済額割合を指標化したものです。平成30年度は、前年度と比較して0.9%減少し、早期健全化基準未満となっています。これは、一般会計が持っている地方債の償還が減少し、そのため元利償還金が減ったことおよび地方税の収入が増加したことによります。

#### ■将来負担比率

借入金や将来支払っていく可能性のある負担等の残高を指標化し、将来財政を圧迫する可能性が高いかどうかを示します。平成30年度は、一般会計の財政調整基金や寄附金による震災復興基金の積立金があることなどから、算定されていません。

※標準的な収入(標準財政規模) → 51億7,337万円(平成30年度)

## 借入金(町債・企業債)の状況

町では、公共施設を整備するために借入金などで資金を調達しています。

一般会計では、前年度に引き続き、災害援護資金貸付事業債(220万円)、防火水槽の設置や小型動力消防ポンプ付積載車の購入などの防災対策整備事業債(1,540万円)の借入れを行いました。また、南三陸消防署の建設に伴い、消防防災施設整備事業債(2億1,140万円)も借入れ、平成30年度の借入総額は9億1,370万円となりました。借入総額のうち、地方交付税の不足分を補うための臨時財政対策債の借入額は2億700万円で、約22.7%を占めています。

他会計においては、平成30年度の借入れは行いませんでした。

町としての平成30年度末現在高の合計額は161億6,996万円となり、前年度末から約1億8,896万円減少しています。

| 区分           | 平成29年度末現在高    | 平成30年度借入額 | 平成30年度償還額   | 平成30年度末現在高    |
|--------------|---------------|-----------|-------------|---------------|
| 一般会計         | 126億2,655万1千円 | 9億1,370万円 | 7億9,796万3千円 | 127億4,228万8千円 |
| 市場事業特別会計     | 3,966万5千円     | 0円        | 1,657万2千円   | 2,309万3千円     |
| 漁業集落排水事業特別会計 | 8,979万8千円     | 0円        | 788万2千円     | 8,191万6千円     |
| 公共下水道事業特別会計  | 14億7,094万1千円  | 0円        | 9,625万2千円   | 13億7,468万9千円  |
| 水道事業会計       | 18億2,369万9千円  | 0円        | 1億5,293万6千円 | 16億7,076万3千円  |
| 病院事業会計       | 3億827万5千円     | 0円        | 3,106万4千円   | 2億7,721万1千円   |
| 合計           | 163億5,892万9千円 | 9億1,370万円 | 11億266万9千円  | 161億6,996万円   |

## 平成30年度 特別会計・企業会計決算

| 特別会計区分       | 歳入総額         | 歳出総額         | 歳入歳出差引残額    |
|--------------|--------------|--------------|-------------|
| 国民健康保険特別会計   | 21億5,617万円   | 19億1,795万7千円 | 2億3,821万3千円 |
| 後期高齢者医療特別会計  | 1億4,383万7千円  | 1億3,806万3千円  | 577万4千円     |
| 介護保険特別会計     | 16億3,241万3千円 | 15億4,355万2千円 | 8,886万1千円   |
| 市場事業特別会計     | 3,869万円      | 3,459万7千円    | 409万3千円     |
| 漁業集落排水事業特別会計 | 8,282万8千円    | 7,805万円      | 477万8千円     |
| 公共下水道事業特別会計  | 2億4,712万2千円  | 2億1,338万9千円  | 3,373万3千円   |

| 企業会計区分         |     | 予算額     | 決算額          |
|----------------|-----|---------|--------------|
| 水道事業会計         | 収益的 | 収入      | 6億6,935万円    |
|                |     | 支出      | 6億6,873万5千円  |
|                | 資本的 | 収入      | 26億5,619万5千円 |
|                |     | 支出      | 28億8,907万7千円 |
| 病院事業会計         | 収益的 | 収入      | 21億7,554万6千円 |
|                |     | 支出      | 21億7,554万6千円 |
|                | 資本的 | 収入      | 3,349万5千円    |
|                |     | 支出      | 3,573万5千円    |
| 訪問看護ステーション事業会計 | 収入  | 4,801万円 |              |
|                | 支出  | 4,801万円 |              |